

▼別ショットの写真



タビユー
に心え、
気合を入
れている
彦左行列
のみなさ
んです。
暑い中お
疲れ様で
した。

今月の表紙は7月25日に行われた幸田彦左まつりです。中央公園を出發する前に、ケーブルテレビのイン

今月の表紙

みんなの
広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線334)
FAX63-5139

こなたの民話
『須美のおいなりさん』

今はもうありませんが、須美の松坂の地に、かつておいなりさんがありました。

明治になる少し前、このおいなりさんをお守りしていたのは信献尼という尼さんでした。信献尼さんは、とても信心深く、おいなりさんの信仰をなんとか広めよう、そのためには、まず、本堂を建て直そうと、一心に働いてみえました。そして、いつからか、このおいなりさんのお使いの白いきつねとも、お話できるようになりました。

ある日のことでした。この白いきつねが、「私は、長い間おいなりさんに仕えてきました。けれども、何の位もないので、村へ出ると、いつも、犬たちに追い回されます。このことがとても悲しいのです。」と、いうではありませんか。この話を聞いた信献尼さんは、

「そうですか。それは悲しいことですね。では、京都の伏見のおいなりさんにお参りして、正1位という位を授かってきましょう。そうすれば、

もう犬たちにほえられるようなこともなくなるでしょう。」と、いって、さっそく京都の伏見のおいなりさんへの道を急ぎました。

正1位の位を授かるには、伏見のおいなりさんの鳥居を、2回跳ぶうちに1回、ぴよんと跳びこえなくてはなりませんでした。

白いきつねは、さっそく1回めを跳びました。けれども、うまく跳びこえられませんでした。がっかりして、泣いている白いきつねに、

「1回めがうまくいかなかったと、泣いていることがありますか。2回めに跳びこえさえすればいいのです。ぜったい正1位の位を授かるのだ。ぜったいに跳ぶんだと心を決めて2回めを跳んでみなさい。」と、励ました。

2回め、白きつねは、見事鳥居を跳びこえることができました。こうして、無事に正1位の位を授かることができました。

【こなたの民話 より】

みんなの作品展!

平成27年度 春の文化展(絵画・日本画)からのセレクトです



くろやなぎ よしこ
黒柳 芳子 さん



やまもと けいこ
山本 敬子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「おうちよ」

「おじいちゃん、あれなーに?」
真夏のよらかな熱気もようやく冷めた夜。どこからともなく聞こえてくる声の主を尋ねる幼孫に……
「あのジージーちつとるやつか。風鈴みたいなリンリンリンちやー、スズムシだけが……。なんしよ、秋の晩に鳴くたで、ぎつちよにやーちげーねーわ」

「あのジージーといつてるやつだね。風鈴みたいにリンリンといええ、スズムシだけ……。どちらにしても、秋の夜に鳴くのだから、バツタには違いないよ」という意味です。

この「ぎつちよ」「おうちよ」という地方もあるように、その鳴き声からキリギリスのことをいいました。それが「イナ」を「いなぎつちよ」、「オロギ」を「おかまぎつちよ」とこの地方では「おうちよ」、キリギリスだけでなく、バツタ類の総称となったのです。

それなら、バツタの中のバツタ、トノサマバツタを「とのさんぎつちよ」とか、仲睦ましいオンプバツタを「おんばぎつちよ」とか呼んでもよさそうなのに、なぜかそう呼びません。

近年、都市化も進み、自然環境も随分変わってきましたが、目を凝らせば、耳を澄ませば、まだまだ季節を感じることはできます。

(文・つたね)

青春トークリレー

△△△ 第270走者

なみかわ
並川 さやか さん

大草区在住 19歳

身長 158cm 血液型 O型

好きなタイプ 明るく、笑顔の多い人

好きな芸能人 有村架純さん

私は今、県内の大学の教育学部に通っています。小さい頃から教師になることが夢で、今はそのために勉強に励んでいます。今まで私は教えられる側の人間でしたが、大学では逆に教える側としての視点で物事を考えることが多くなり、とても新鮮に感じています。

また、小学校に行つて授業観察を行ったりもします。そこでは先生方の子どもたちに向き合う姿、熱意、授業への工夫などを直に感じることができ、また子どもたちの笑顔を見て、教師になりたい思いが強くなりました。もし、教師になったら、子どものことを思いやり、笑顔の多い先生になりたいです。



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わんぱくだより

「某日某日」
坂崎保育園

『夏遊び会を通して、大きくなった年長青ハッチ!』

年長になったら、「夏遊び会」で小さい子を楽しませてあげると、楽しみにしていた子ども達。今年は、3日間色々なことを企画しました。

1日目は、「カレーライズ作り」。にんじん、じゃがいも、玉ねぎ、なすなどを切りました。初めて包丁を持った子も多く、左手は「猫の手」と言いながら、ハラハラ、ドキドキしながら

ら、慎重に切っていました。自分達はもちろん、年少、年中の子達も「いつもよりおいしく」と喜んでくれました。

2日目は、「ゲームの日」。お化け屋敷、魚釣り、ボーリング、迷路、輪投げなど。お化け役になり、小さい子をおどろかしたり、ゲームの仕方を教えたり、お世話をして楽しませてあげていました。

3日目は、「レストランごっこ」で、白玉だんごを自分たちで作作り、フルーツを加えフルーツポンチの出来上がり!それを、ウエイトレスになって配り、食べてもらいました。本物のウ

エイトレスになれて、すぐく嬉しかったようです。3日間、色々なことを楽しみながら経験し、人に喜んでもらえる嬉しさを味わうことができました。夏遊び会を通して、自信を持ち、ひと回り大きくなった子ども達でした。



▲ゲームが終わった子にシールをはる年長児

編集者のひびく

ちびっこのひびく

本当に体重が減っているのか?と疑われている編集者のKです。今年の夏も最高に暑かったですね。この夏の一番の思い出は何ですか?僕は、海水浴に行ったのに水着を忘れて奥様にキレられたことです。

さて、幸田町でも夏のイベントが盛り沢山でした。子ども会ソフトボール大会は炎天下の中、優勝を目指して熱い戦いが繰り広げられました。準決勝、決勝はシーソーゲーム、両チームの点の取り合いで応援団も含めて大いに盛り上がりました。

彦左まつりは幸田駅前通りが人で埋め尽くされ、大変な賑わいでした。小中学校時代の恩師を見かけて盛り上がる場面も。コンパクトシティー幸田ならではの楽しみですね。駅前広場ではステージイベントが行われ、キッズダンスやパラパラダンスで人気アニメの主題歌などが流れ、来場者を楽しませていました。

同日の午前に行われた深溝小学区コミュニティのポンツク大会では、拾石川で鮎と子どもたちの格闘が繰り広げられました。姿は見えても網には入らず、追いかけるうちに水が濁って姿も見えず...それでも、コツをつかんで何匹も鮎を捕まえた強者もいました。将来は凄腕の漁師になれるかも。思い出いっぱい夏の夏でした。(K)